



花もみももある桃源郷へ。

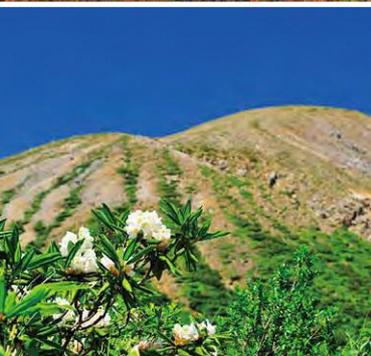
ふくしま

旅のレシピ

心をとぎほぐすしのぶの里へ 花といで湯の旅――。



福島市観光PRキャラクター
「ももりん」



「福島に桃源郷あり」と 絶賛された里山で 爛漫と咲き誇る花々を愛でる

花見山

MAP
D-2

写真家の故・秋山庄太郎氏が毎年のように訪れた場所、今では全国から毎年たくさんの方々が訪れる観光地となった花見山。ここは、花木農家が点在する地域で、中でも花見山公園は「きれいな花をたくさんの人に見て欲しい」との思いから、昭和34年頃より私有地を初代園主から代々無料で一般開放されています。春になると梅・ハナモモ・桜・レンギョウ・ボケ・モクレンなどの花々が次々と咲き競い、周辺の花木農家の畑と共に山全体が淡いピンク色に染まって見える様はまさに「桃源郷」。天気の良い日には、吾妻連峰や吾妻山の雪つさを観ることができ、美しい風景が眼下に広がります。



父の夢から始まった
花見山、今は私の
人生そのものです。

花見山公園 2代目園主
故・阿部一郎さん

「元々は養蚕農家でしたが、花木栽培で生計を立てようと決心した父と一緒に、昭和10年から養蚕を止め、雑木山の開墾を始めました。本格的な開墾は、戦争に召集されて復員してから。93歳になりましたが、自分で選んだこの仕事は何よりも好きで、毎日が本当に楽しいです。」

花見山は、私の人生そのもの。毎年たくさんのお客様が私と同じ気持ちで花を求めてみえるんだと思うと、自分の考えは間違っていないなと思うようになりました。と、2代目園主の阿部一郎さんは花への思いを語ってくれました。(平成25年9月)

見頃／4月上旬～下旬

交通／JR東北新幹線福島駅からバスで15分

東北自動車道福島西ICから車で30分

※開花期間中は周辺で交通規制あり

福島市民家園で後世に伝承される貴重な生活遺産を堪能する



旧広瀬座

福島は、江戸時代から明治時代にかけて栄えた旧信夫・伊達郡（現在の福島市・伊達市・伊達郡）の蚕糸業により、生糸が集積して栄えました。福島市民家園は、絹とともに繁栄した福島市の歴史を物語る建物を移築・保存し公開しています。約110,000㎡の園内には、明治時代につくられた芝居小屋で国指定重要文化財の「旧広瀬座」、戊辰戦争や自由民権運動にかかわりがある福島有数の割烹旅館「元客自軒（かくじけん）」（旧紅葉館）、信夫・伊達地方にあった茅葺き屋根の養蚕農家や民家、商人宿などが保存されています。

江戸時代の俳人・松尾芭蕉が「奥のほそ道」行脚で福島に入ったのは、1689年（元禄2）旧5月。福島に一泊した翌日、もちずり石で有名な「信夫文知摺」を参拝し、そこから源義経の家臣の佐藤継信・忠信兄弟の菩提寺「医王寺」を訪ね、飯坂温泉に泊まっています。芭蕉は旅の途中の福島でふれた、いにしえの物語に深く感動し、「奥のほそ道」に2つの句を残しています。



元客自軒

旧広瀬座内部

福島市民家園 MAP [C-3]
江戸時代中期から明治中期にかけての養蚕農家や、福島有数の割烹旅館「元客自軒（かくじけん）」、国重要文化財指定の芝居小屋「旧広瀬座」などが移築復原されています。
JR東北新幹線福島駅からバスで30分、東北自動車道福島西ICから車で10分



医王寺 MAP [D-1]
源義経の家臣、佐藤継信、忠信一族の菩提寺。境内には、佐藤一族が滅ぼされた後に植えられた「乙和の椿」があり、それには源平合戦で二人の息子を失った母「乙和御前」の悲しみがのり移り、花が開かずつぼみのまま散ってしまうといわれています。
福島交通飯坂医王寺前駅から徒歩15分、東北自動車道福島飯坂ICから車で5分
拝観料：大人（18歳以上）300円 団体割引あり



信夫文知摺 MAP [E-2]
もちずり絹の発祥地として知られ、古今集には「みちのくのしるぶもちずり誰ゆに 乱れ染めにし 我ならなくに 源 融」と詠まれています。子規や芋銭など数多くの文人墨客が足を運んだ境内には、悲恋を伝えるもちずり石を中心に観音堂、県重要文化財の多宝塔、芭蕉・子規の句碑などが建立されています。
JR東北新幹線福島駅からバス20分、東北自動車道福島飯坂ICから車で20分
拝観料：無料 資料館見学は大人200円、小・中学生100円

「奥のほそ道」ゆかりの場所を訪ね 先人たちの歩みに思いを馳せる



豊臣秀吉の奥州仕置によって、伊達政宗の領地であった信夫・伊達郡（現在の福島市・伊達市・伊達郡）は1591年（天正19）に蒲生氏郷領となり、氏郷の客将・木村吉清が現在の市内杉妻町にあった城を福島城に改め城下を整備しました。1679年（延宝7）に本多忠国が福島15万石の領主となり福島藩が成立。堀田氏時代や幕領などを経て、1702年に



限畔・板倉神社 MAP [F]
板倉神社は福島県庁舎の限畔（いはい）にあり、板倉家の祖・板倉重昌を祀ったとされています。
JR東北新幹線福島駅から徒歩20分、東北自動車道福島駅から車で10分

三河国から板倉重寛が3万石で入封し、以後1869年（明治2）まで167年続きました。阿武隈川と荒川の合流点に形成された城下町福島は、信夫・伊達両郡の養蚕業の発達とともに、阿武隈川舟運による廻米によって物資流通の拠点として、商業の町として栄えました。1876年（明治9）には福島県が成立し、県庁が福島城跡に置かれました。

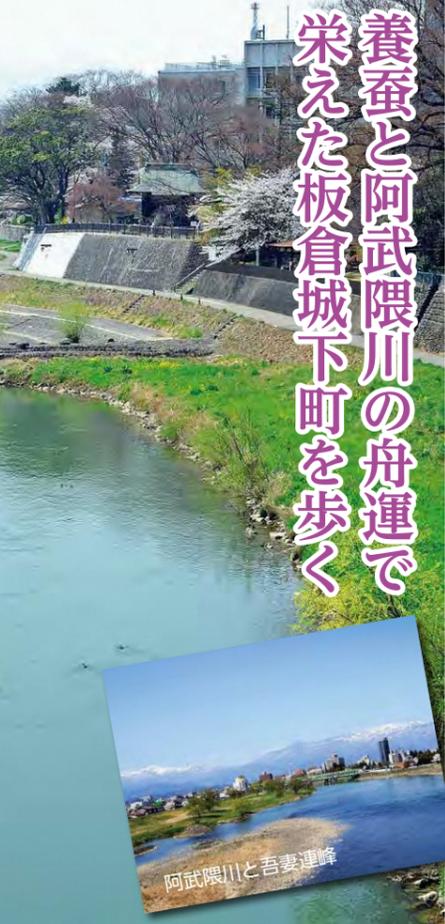


御倉邸 MAP [F]

福島は近代以降も、江戸時代に認められた「奥州本場蚕種」の名声とともに、2郡に広がった養蚕業・生糸製糸業の発展を背景とした商業と金融の中心地として位置づけられ、1899年（明治32）には、日本銀行福島出張所（明治44年に支店昇格）が東北で最初に置かれました。旧奥州街道や寺町通り、阿武隈川沿いの限畔などに、その歴史を物語る土蔵や神社仏閣が点在し、当時の繁栄の面影をしのべます。



おすすめモデルコース
歴史探索コース【所要時間 約2時間】
福島駅（徒歩5分）→
日本銀行（徒歩10分）→
もみじ山公園（福島城跡）（徒歩5分）→
御倉邸（徒歩5分）→
寺町通り散策（徒歩10分）→
福島駅



養蚕と阿武隈川の舟運で栄えた板倉城下町を歩く



宮畑遺跡跡公園（愛称：じよーもびあ宮畑）MAP [E-2]
じよーもびあ宮畑は、今から4,000年前の縄文時代の宮畑遺跡を整備した公園です。直径90cmの柱を使った巨大な竪柱建物や竪穴住居が復元され、縄文をテーマにした体験や見学ができます。じよーもびあ遺跡の案内人がわかりやすくご案内します。体験学習施設には、縄文時代の暮らしを判りやすく伝える展示室、勾玉作りなどの縄文体験ができる縄文工房、講演をするホールがあり、エントランスには焼けた竪穴住居を床下に展示しています。また、2階展望デッキからは園内を一望できます。
JR東北新幹線福島駅からバスで30分、東北自動車道福島西ICから車で15分
展示室観覧料：大人200円（団体140円）、高校生以下100円（団体70円）
団体は20名以上。＊未就学児、障がい者は無料。
9:00～17:00
火曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）
＊福島市立学校の春・夏・冬期休業中は毎日開館
じよーもびあ宮畑
TEL 024-573-0015 〒960-8201 福島県福島市岡島字宮畑78



限畔の桜



第11代衆議院議長を務めた河野広中



常光寺八重桜（板倉家菩提寺）



旧米沢藩米蔵（御倉邸内）



信天山 MAP [F]
市中央部にぼんとある信天山は、熊野羽黒の山からなる福島市のシンボル。桜のシーズンには福島市を代表する花見スポットとなり、多くの人たちでにぎわいます。標高は275mで、西端にある鳥ヶ崎や展望台から見る市街地の眺めは抜群。夜間は美しい。い。羽黒山の頂上にはある羽黒神社には2月の「眺まいり」で奉納される。日本一のつばきがあります。



信天山ガイドセンター



岩谷観音 [D-2]
信夫山の中腹、東側の岩壁に彫られた磨崖仏群で、三十三観音、地藏尊、不動尊など60余体が刻まれています。平安時代の末期から鎌倉時代にかけて建立されたもので、現在の観音堂は慶長19年（1614）に再建されたものです。



「後も太刀も五月に飾れ紙のぼり」

目の前に広がる雄大なパノラマを
胸の奥深くまで焼き付けて



天狗の庭

一切経山から望む吾妻小富士

雪の回廊

つばくろ谷

磐梯吾妻スカイライン MAP[A-2]

高湯温泉から土湯峠に至る29kmの山岳観光道路。雄大に変化に富んだ自然の風景を堪能できます。作家の故井上靖氏が名付けた「吾妻八景」が見所。4月には雪の回廊を見ることができます。(11月中旬～4月上旬冬期閉鎖)

☒(浄土平まで) JR東北新幹線福島駅からバスで1時間40分



福島市の
四季

花と山、そして水が創り出す
春夏秋冬の美しさに出会う



慈徳寺種まき桜 MAP[B-3]

樹齢450年の桜は、開花を自安に苗代に種を蒔いたことから「種まき桜」と呼ばれています。

☒JR東北新幹線福島駅からバス30分、東北自動車道福島西ICから車で15分



大蔵寺(小倉寺観音)のしだれ桜 MAP[D-3]

国重要文化財指定の千手観音がある大蔵寺。樹齢300年といわれるしだれ桜や稚児桜があります。

☒JR東北新幹線福島駅からバス10分、東北自動車道福島西ICから車で10分



花ももの里 MAP[D-1]

世界中から集められた40品種約300本が植栽され、赤やピンク、白の花が約1か月にわたり山肌を彩ります。

☒福島交通飯坂線飯坂温泉駅から徒歩20分、東北自動車道福島飯坂ICから車で15分



幕瀧 MAP[A-3]

原生林に包まれた遊歩道を20分程歩くと、高さ約30mからダイナミックに水が流れ落ちる様が見えます。

☒(霧川温泉まで) 東北自動車道福島西ICから車で1時間(霧川温泉から瀧まで) 徒歩20分

福島市西部にそびえる標高1707mの吾妻小富士。その山肌を縫うように走る磐梯吾妻スカイラインは、日本の道100選にも選ばれています。つばくろ谷や天狗の庭、湖見(うみみ) 峠に代表される「吾妻八景」などビューポイントも数多く点在し、春の雪の回廊、初夏の新緑、そして秋の紅葉の時期まで、周辺を彩る絶景を見に多くの人が訪れます。



福島市浄土平天文台 MAP[A]

全国的に知られるスタウトポイント。浄土平にあり、直径5.5mのドームと口径40cmの望遠鏡を備えています。

☒JR東北新幹線福島駅からバスで1時間40分、東北自動車道福島西ICから車で1時間

紅葉カレンダー

	9月	10月	11月
磐梯吾妻スカイライン 浄土平	■	■	■
磐梯吾妻スカイライン 天狗の庭	■	■	■
あづま総合運動公園 イチヨウ並木	■	■	■
徳上川ダム周辺	■	■	■
黒岩虚空蔵尊	■	■	■



吾妻小富士から見る浄土平と一切経山 MAP[A-3]

磐梯吾妻スカイライン中間地点の標高1600mに位置している浄土平。一切経山の火山噴火により生成された火山荒原と、高山植物群落や亜高山帯の針葉樹林温泉などが点在し、手軽に亜高山の自然を楽しむことができます。

☒(浄土平まで) JR東北新幹線福島駅からバスで1時間40分、東北自動車道福島西ICから車で50分



あづま総合運動公園 MAP[C-3]

116本のイチヨウ並木は10月下旬から11月上旬の見頃の時期にはライトアップされ、幻想的な風景を見せてくれます。

☒JR東北新幹線福島駅からバス30分、東北自動車道福島西ICから車で10分



土合館公園のアジサイ MAP[D-4]

5haの園内に40種類約4500株のアジサイが植えられ、「あじさい公園」とも呼ばれています。

☒JR東北本線松川駅から徒歩30分、東北自動車道福島西ICから車で20分、松川スマートICから車で5分

四季折々の彩り豊かな福島市には、写真家の故秋山庄太郎氏がこよなく愛した花見山を始め、季節の移ろいを感じさせる名所が数多くあります。春は薄紅色の桜や濃いピンクの花もも、夏は梅雨空を彩るアジサイと涼しげな水辺の風景、秋は錦秋に染まる山々とまっすぐに続くイチヨウ並木そして冬は真っ白に衣更えした山々と、何度訪れても数々の美しい風景に出会うことができます。



水原のクマガイソウ MAP[C-4]

絶滅危惧種に指定されているクマガイソウの、全国に3箇所だけの群生地。約15000株が咲き誇ります。5月中旬～下旬の見頃の時期のみ(一般開放)

☒JR東北本線松川駅から車で15分、東北自動車道福島西ICから車で45分、松川スマートICから車で10分



芳水の桜 MAP[D-4]

立ち姿が美しく、そばの農用水池に映る様は見事です。

☒東北自動車道福島西ICから車で30分、松川スマートICから車で10分

花カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小鳥の森カクタリ	■	■	■	■	■	■
大蔵寺(小倉寺観音)のしだれ桜	■	■	■	■	■	■
慈徳寺種まき桜	■	■	■	■	■	■
仁田沼のミズバショウ	■	■	■	■	■	■
びっき沼ミズバショウ	■	■	■	■	■	■
花ももの里	■	■	■	■	■	■
館ノ山公園の桜	■	■	■	■	■	■
医王寺乙和の椿	■	■	■	■	■	■
土湯峠温泉ミズバショウ	■	■	■	■	■	■
つつじ山公園ツツジ	■	■	■	■	■	■
水原のクマガイソウ	■	■	■	■	■	■
境ヶ平ヒメユリ	■	■	■	■	■	■
土合館公園のアジサイ	■	■	■	■	■	■
あづま総合運動公園のヤマユリ	■	■	■	■	■	■
浄土平高山植物	■	■	■	■	■	■

吾妻山の高山植物

シャクナゲ	ワタスゲ	コバイケイソウ
イワカガミ	ゴゼンタチバナ	クロマメノキ



湖見峠



女沼



ヒメサユリ

**約10種類の泉質と豊富な湯量が自慢
土湯温泉** MAP [B-3]

荒川の upper 流にあり、豊富な湯量と複数の泉質を持つ温泉郷。川沿いに宿が並び、温泉情緒を満喫できます。さらに奥にある土湯峠温泉郷には、野地・新野地・鷲倉・幕川の各温泉があり、秘湯ムードを堪能できます。

① JR東北新幹線福島駅からバス40分、東北自動車道福島西ICから車で15分
② 土湯温泉観光協会 TEL 0245512217

足湯
温泉街には4つの足湯があり、手軽に利用することができます。



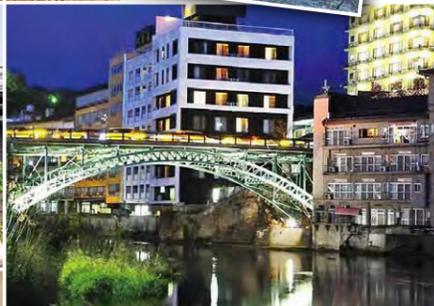
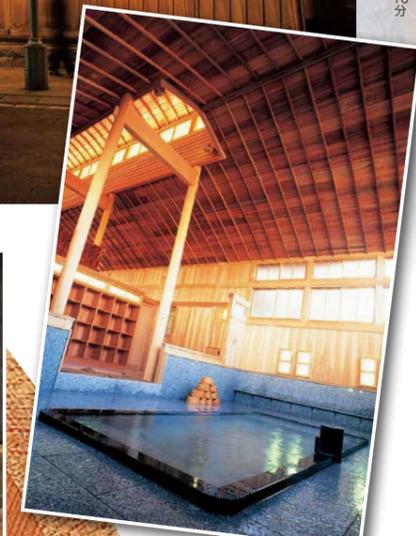
思いの滝



新野地温泉



男沼



福島の
いで湯

泉質の異なる
3つの温泉郷で
名湯・秘湯めぐりを
楽しむ

9つの共同浴場は地元住民との社交場

飯坂温泉 MAP [D-1]

秋保、鳴子と並び「奥州三名湯」のひとつに数えられる福島市の奥座敷。地元の人たちとのふれあいも楽しい共同浴場は9軒あり、温泉街のシンボルでもある鱒湖湯には、松尾芭蕉も入ったと言われています。

① 福島交通路線バス飯坂下車、東北自動車道福島飯坂ICから車で10分
② 温泉観光協会 TEL 0245474241



波来湯 (はこゆ)
平成23年1月にリニューアルオープン。源泉かけ流しの熱いお湯と、あたたかいお湯の2種類の浴槽があります。2階の太鼓櫓からは温泉街が一望できます。

泉質も効能も様々な、福島の温泉へおいでよ！



高湯温泉 MAP [B-2]

標高750mの山里にわく開湯400年の湯

標高750mの高原に沸き、蔵王・白布とともに「奥州三高湯」として知られています。白いお湯の硫酸泉は薬効成分が高く、神経痛や糖尿病、アトピー性皮膚炎などに効能があるとされています。平成22年には東北初の「源泉かけ流し宣言」をしており、温泉街のすべての入浴・宿泊施設で源泉かけ流しの湯を楽しむことができます。

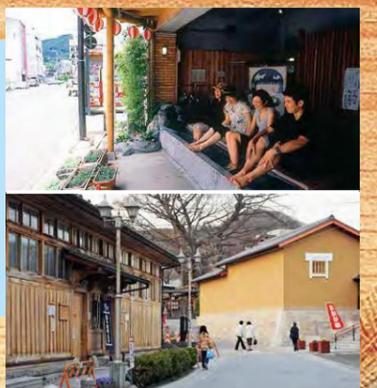
① JR東北新幹線福島駅からバス40分、東北自動車道福島西ICから車で30分
② 高湯温泉観光協会 TEL 0245011225



あったか湯
湯屋をイメージした和風建築の日帰り温泉。浴場は木と石を基調とした露天風呂で、貸切露天風呂もあります。



旧堀切邸
江戸時代から続く豪農・豪商の旧家で、県内最古の土蔵「十間蔵」が現存しています。飯坂の情報を発信する案内所や足湯・手湯もあり、美しい庭園を眺めることができる憩いの場所となっています。



茂庭っ湖
摺上川上流にある摺上川ダムの建設により出来た人造湖。紅葉の名所としても知られ、周辺にはもにわの湯、キャンプ場、親水広場、バーベキュー広場などが整備されています。

もにわの湯
摺上川ダムの近くであり、美肌に効果があることから「美人の湯」とも呼ばれています。

ペットボトル「ふくしまの水」
摺上川を水源とする福島市の水道水。モンドセレクション2017の最高金賞に引き続き、モンドセレクション2018においても最高金賞を受賞。さらにITQi2017にて水道水としては初となる「優秀味覚賞」を受賞！

福島市の味と技

みずみずしい果物や手作りの品々
福島の美味・銘品に感動

「くだもの王国」の呼び声高い福島市では、初夏から冬にかけて様々な果物が実りの時期を迎え、新鮮な果物狩りも楽しめます。他にも今注目の円盤餃子や福島やきとり、数々の郷土料理など、福島ならではの味が楽しめます。また、伝統こけしやダルマ、陶芸品など、作り手のぬくもりあふれる民芸品も自慢です。



観光果樹園
福島市の北西部に、フルーツラインやピーチラインと呼ばれる道路があります。その名のとおりサクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴなどの観光果樹園が道路沿いに立ち並び、初夏から秋にかけて、もぎたての味が楽しめる果物狩りができます。

■ふくしまのくだもの狩りカレンダー (時期は平年値です)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
サクランボ		佐藤錦					
モモ			暁星				
ナシ			あかつき	川中島白桃			
ブドウ			幸水	豊水	二十世紀	巨峰	
リンゴ				高尾			王林
						ふじ	

福島市郊外の観光果樹園では、初夏のサクランボに始まり、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴと様々なくだもの狩りが楽しめます。完熟したジューシーな果物は、抜群の甘さとみずみずしさで、今まで食べた果物とは別格の美味しさです。

福島のお土産・特産品を買うならココ！

福島県観光物産館 MAP F
福島駅西口のコレッセふくしま1階にあり、福島県内の果物やお菓子、地酒、民芸品などを販売しています。週替わりで各種イベントも開催。

吾妻の駅こころ MAP C-2
観光情報などを提供する多目的施設。旬の野菜や果物を販売する農作物直売所を併設しています。

道の駅つちゆ MAP B-4
国道115号の土湯峠に位置し、手づくりこんにやくなど特産品を販売する売店コーナーと軽食コーナーがあります。



いもくり佐太郎
さつまいもと栗が盛りなす上品な甘さが、口の中でとろけだします。福島が生んだ極上スイーツです。



モモドライフルーツ
モモ・なし・りんごの水分を少し残し、平干しした状態にしました。乾燥させたことにより果物の甘味が強まり、風味が活きた食感が特徴です。



福島やきとり
福島はやきとりのまち。伊達鶏や川俣シヤマなどを、炭火で焼いたものをいただきます。

お店ごとに個性の違うやきとりを食べ比べてみて！



凍み豆腐
天日と寒風にさらされ旨みを凝縮した、栄養たっぷりの保存食。福島市南東部に位置する立子山地区は産地として名高く、農家の軒先につるされる凍み豆腐の「のれん」は福島市の冬の風物詩にもなっています。



いかにんじん
するめと人参を漬けた、福島地方の郷土料理。



ラジウム玉子
黄身は半熟、白身はとろとろなのが特徴で、飯坂温泉には、ラジウム玉子作り体験のできる施設もあります。その名は日本で初めてラジウム温泉が飯坂温泉で発見されたことから。



飯坂ラーメン
とんこつエキスを練り込んだ細切り平打ち麺で、ツルツルモチモチした食感が特徴です。

ヘルシーでジューシーな円盤餃子は、ビールとの相性も抜群！

円盤餃子
野菜たっぷりの餃子を円盤状に並べて焼いた餃子は、ポリウム満点なのに軽い食感で、つつい箸が進みます。市内には40~50年の歴史を持つ餃子店も多く、行列ができるお店も。夜からの営業が多いのも特徴です。



麦せんべい
小麦粉の生地にピーナッツを練り込んだ、昔ながらの素朴な味わいが人気です。福島みやげの定番。



福島だるま
福島だるまは、最初から目が入っているのが特徴です。にらみを付けて悪魔を退治し、福を呼ぶ縁起物です。



土湯こけし
東北三大こけしの一つに数えられる（鳴子・遠刈田）。蛇の目模様の顔、三日月眉にクジラ目、おちょぼ口など、愛らしい表情が人気のこけし。

- 土湯温泉やきとり祭り 4月第3土曜日
● 土湯温泉こけし祭り 7月下旬
● 土湯温泉おこけし祭り 10月上旬
● 土湯温泉おこけし祭り 10月下旬
● 土湯温泉おこけし祭り 11月上旬
● 土湯温泉おこけし祭り 11月下旬
● 土湯温泉おこけし祭り 12月上旬
● 土湯温泉おこけし祭り 12月下旬
- 大波山三日月祭り 10月10日
● 大波山三日月祭り 10月11日
● 大波山三日月祭り 10月12日
● 大波山三日月祭り 10月13日
● 大波山三日月祭り 10月14日
● 大波山三日月祭り 10月15日
● 大波山三日月祭り 10月16日
● 大波山三日月祭り 10月17日
● 大波山三日月祭り 10月18日
● 大波山三日月祭り 10月19日
● 大波山三日月祭り 10月20日
● 大波山三日月祭り 10月21日
● 大波山三日月祭り 10月22日
● 大波山三日月祭り 10月23日
● 大波山三日月祭り 10月24日
● 大波山三日月祭り 10月25日
● 大波山三日月祭り 10月26日
● 大波山三日月祭り 10月27日
● 大波山三日月祭り 10月28日
● 大波山三日月祭り 10月29日
● 大波山三日月祭り 10月30日
● 大波山三日月祭り 10月31日



竹灯籠づくり体験 MAP D-4
聖寺で、世界にたった1つのオリジナルの竹灯籠を作ることができます。聖寺寺・源隆の家に佐藤雅樹氏・田代信太郎氏、奥州十三間堂の別荘に田代信太郎氏、松戸山荘の別荘に田代信太郎氏。



カヤック体験
福島市の水道水を貯水する茂庭つ湖では、四季折々の景色を楽しみながらカヤックを楽しむことができます。



四季の里 MAP C-3
花彩られた農村公園には、ガラス工芸やこけしの絵付けなどが体験できます。





福島市観光PRキャラクター ももりん

毎年春、吾妻小富士の斜面の雪がうさぎの形に溶けて残ります。この雪うさぎは「種まきうさぎ」とも呼ばれ、昔から農作業の目安にされてきました。このうさぎをモチーフに誕生したのが観光PRキャラクター「ももりん」です。



こせきゆうじ 古関裕而

福島市出身の昭和を代表する作曲家。JR福島駅東口駅前広場には、生誕100年を記念して設置されたモニュメントがあり、「栄冠は君に輝く」「長崎の鐘」などの古関メロディが1時間おきに流れ、訪れる人々を歓迎しています。



ふくしまバリアフリーツアーセンター

福島駅西口の福島市観光案内所内にある「ふくしまバリアフリーツアーセンター」では、ひとりひとりのハンディに合った快適な「ふくしまの旅」を提案しています。いろいろなお相談にも応じておりますので、電話、FAX、メール、またはセンターを直接お訪ねください。車いすの貸出も行っています。



営業時間/9:00~18:00
 休業日/年末年始
 TEL・FAX 024-531-7382



●福島市観光案内所 [JR福島駅東口] 改札口正面玄関脇
 TEL 024-522-3265 営業時間/9:00~18:00 (年末年始休業)

●福島市観光案内所 [JR福島駅西口] 新幹線改札前
 TEL 024-531-6428 営業時間/9:00~18:00 (年末年始休業)

●一般社団法人 福島市観光コンベンション協会
 TEL 024-563-5554 FAX 024-563-5915
 ホームページ <https://www.f-kankou.jp/>

こらんしょふくしま 検索



e-mail kankou@f-kankou.jp

2019.2 現在